



文協おおぶ

創立35周年記念号

【発行】大府市文化協会 大府市明成町一丁目330 大府市勤労文化会館内 TEL(0562)48-6188

文協創立三十五周年を祝して

大府市文化協会会长 深谷良一

大府市長 久野孝保

会員の皆様、みんなで育てた文化協会が創立三十五周年を迎えた。立派な業績を残すことになりました。私も皆様を誇りに思います。ありがとうございます。又此れまでの大府市、役所の皆様のご支援ご協力に心より御礼申しあげます。



文化協会の事業も皆様のご協力のおかげで大変順調です。又今年は会員も大きく増加し、然も子供の会員が多く入り若返りました。嬉しい限りです。

大府市文化協会として生まれて三十五歳、これまで多くの会員、役員が互いに協力しあい努力して、地域の人々と共に文化活動をしてまいりました。創世記の十年は島会長を中心として基礎を築き上げ、次の十数年は加藤会長、多和田副会長を中心にして組織を固め素晴らしい事業を行い県下有数の文化団体となりました。

私は大府市文化協会の最も良いところは会員と役員が一体となつて互いに協力し、それぞれの部門で市と協力をしあい、ボランティア事業を行って成功させていた所だと思います。

又、平成十六年より大府市勤労文化会館の指定管理者として私達の文化協会がその運営を致しております。最初の決定については全役員が悩みに悩みました。しかし、七年経た現在、市の協力を得て新しい事業が出来るようになり、皆さんにあの時の決断は良かったねと言われる様になりました。

人間は一人では生きられません。私は地域での人々の交わり、文化交流の大切さを今まで以上に必要だと思います。私達の大府市を文化の香り高い街にしましょう。

創立三十五周年を祝して

大府市文化協会の創立三十五周年、誠におめでとうございます。



昭和五十二年にレクリエーション協会の後を受け発足して以来、着実な発展を遂げられ、本市の文化芸術事業の推進に努めてこられました。これも歴代会長さんを始め役員の方々、会員の皆様のご努力とご熱意に深く感謝と敬意を表するものでございます。

近年、価値観の多様化や経済の低迷などにより、社会全体が文化に親しむ機会が少くなり、文化芸術活動に親しむことで、心豊かに暮らす社会づくりが課題となっています。こうした中、文化協会におかれましては、文協まつりや芸能祭、歌謡祭などを開催するとともに、新たに「文協趣味の入門講座」を開講するなど、市民が気軽に文化に触れる機会をつくり、文化芸術事業の底辺の拡大に尽力されておられますことは、まことに意義深く心強く感じております。

本市は「みんな輝き 幸せ感じる 健康都市」の実現に向けて、ずっと住み続けたくなるまちづくりを目指しており、平成二十六年七月開館における、新たな文化交流の拠点として「おおぶ文化交流の杜 ALLOBU（アローブ）」の整備を進めています。

今後とも本市の発展に、一層のご助力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この三十五周年を契機に会員相互の一層の連携と英知を結集され、ますますの「发展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げ、お祝いのごあいさつといたします。

大府市文化協会の あゆみ

大府市文化協会の設立

昭和五十二年五月二十二日に、大府市文化協会が中央公民館で発会式を行われました。これにより昭和四十年に発足したレクレーション協会の活動は、大府市文化協会に引き継がれました。

初代会長に島千広氏、副会長に大島鈴男氏が推挙され、常任理事四名、幹事二名、理事八名の体制で事業の企画調整が行われ、加入団体は二八団体、会員数は九五五名で、文芸部門・美術部門・音楽部門・芸能部門・園芸部門・茶華道部門・趣味第一・趣味第二の八部門で、大府文化協会の活動がスタートしました。



★音楽祭

音楽祭を開催して最初の十年は、各団体の練習成果の発表形式で行われていましたが、平成六年度から音楽部門が一体となって一つの作品を作り上げて発表するようになりました。

そして平成十年には大府市音楽祭と共に開催し、名曲と歌おう合唱団を結成しました。以降、市民オペラや第九を歌う市民合唱団の運営等、常に成長しています。



★社交ダンス交流会

平成十三年度からは、市民参加のふれあいの場として大府市勤労文化会館で社交ダンス交流会が行われるようになりました。

平成十六年度からは二部構成としました。一部では初心者の集いとして市民の方が気軽に参加し楽しめる憩いの場とし、簡単なステップとリズムを音楽に合わせる練習を行います。休憩後の二部では、パートナー形式からワンポイントレッスン等、交流と技術向上を目指して行っています。



★文協まつり（文化展・芸能祭）

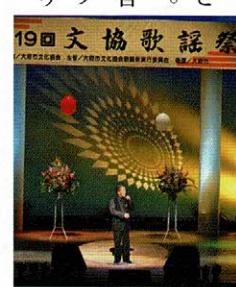
設立当時は、春に文化展、秋には芸能祭・美術部門展・合唱祭を行っていましたが、昭和五十四年度から芸能祭は秋から春に行われるようになりました。

主催事業

平成三年度からは新装成った大府市勤労文化会館で、今まで別々に行われていた文化展と芸能祭を五月の同一日程で、ゆとり&うるおいをスローガンに文協まつりとして行われるようになりました。そして平成九年度からは、文協まつり開会式とテー

プカットが行われ、華やかさに色を添えるようになりました。さらに多くの市民の方に楽しんで頂こうと、平成二十一年度から体験コーナーを、平成二十二年度からはロビーコンサートとスタンプラリーを始めました。

平成五年度からは、新たに発足した歌謡部門を中心になり歌謡祭が大府市勤労文化会館で行われるようになりました。出演者は華やかなステージ衣装を身にまとい、日ごろの練習成果のほど自慢を披露しています。そして、より多くの一般市民の方にも楽しんでいただき、毎回プロのゲストをお招きし、熱唱で会場を大いに盛り上げていただきました。ゲストの中には、のちにNHK紅白に登場された歌手もおられました。また、三回目からは来場者のお楽しみとして、花鉢プレゼントも行うようになりました。



★歌謡祭

昭和五十四年度からは、万葉教室・漢詩入門教室などの文協教室が行われるようになりました。

以降企画委員会では文化財展示会やオペラ・文楽などの鑑賞のポイントを解説する講座を開講したり、絵手紙や俳句・版画などの芸術教室を行っています。そして、この文教室の受講者が中心になってクラブを結成し、文協の新団体として活動を継続しています。

★研修旅行

研修旅行は企画委員会が企画実行するもう一つの重要な事業です。地域の重要な施設見学に、地引網やウインナ造り・紙漉き等の体験型研修旅行等を行ってきました。近年の歴史ブームにも沿つて、古里や歴史文化施設・大河ドラマの郷土イベント館見学・開創記念事業見学等、時流に合った研修旅行を企画し好評を得ています。



周年記念事業

★創立五周年記念(昭和五十六年度)

前進座新見南吉劇場「ごん狐」と「花のき村と盗人たち」の公演、そして尾張部第十三回県文連芸能大会を市民ホールで行いました。

★創立十周年記念(昭和六十一年度)

ドクトル・チエコ女氏の記念講演会と桂三枝落語独演会を市民ホールで行いました。

★創立十五周年記念(平成三年度)

鈴木尚が引き入るジャズインナゴヤビッグバンドによるジャズコンサートを、新装の大府市勤労文化会館で行いました。

★創立二十周年記念(平成八年度)
文協創立二十周年記念事業として、そして第三回愛知県生涯学習フェスティバルということで、春風亭小朝落語独演会を行いました。



★創立二十五周年記念(平成十四年度)
記念式典と式典終了後のアトラクション(津軽三味線の演奏)を市役所多目的ホールで行われました。井上ひさしが「父と暮せば」を大府市勤労文化会館で上演しました。

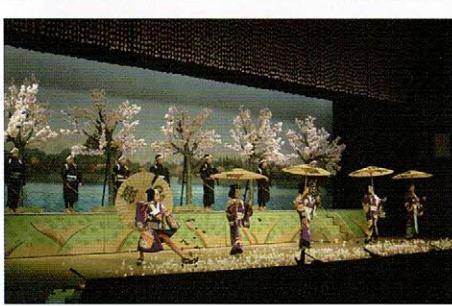
★創立三十周年記念(平成十九年度)

記念式典と式典終了後の記念演奏(尺八と箏の演奏)が大府市勤労文化会館で行われました。

一つ目の記念事業として、第二十四回文協音楽祭「市民の第九」が多く市民の参加のもとに大府市勤労文化会館で行われました。

二つ目の記念事業として、新城歌舞伎公演が勤労文化会館で行われました。この公演は文化庁の支援を受け、応募による大府の小学生が五か月の稽古を積んで、大府こども歌舞伎が大府市勤労文化会館の舞台で演じられました。

そして、創立三十周年記念誌「あゆみⅡ」を発行しました。



★創立三十五周年記念式典

- | | |
|-----------|---|
| 式典日時 | 平成二十四年十一月二日（日） 十三時三十分～十六時 |
| 式典場所 | 大府市勤労文化会館 |
| 式典次第 | くちなしホール 開式のことば、会長式辞、表彰式、 来賓祝辞、市民憲章唱和、閉式のことば |
| 記念アトラクション | 名城病院の赤澤医師による講演とライブ |
| 医療系バンド | Heartfull Hospital ハートフルホスピタル |



市民の方々に春の喜びを知つていただくために、大府の新しい観光行事にと大府盆栽会が中核となつて始まつた盆梅展は、今年で第二十一回となりました。大倉公園の管理棟の日本間と休憩棟を会場で、ほのかな香りが漂い優雅なひと時を過ごしていただいている。

多くの来場者は、府柳クラブによる梅を主題にした川柳に思わず微笑み、ことね会による琴と尺八の演奏にうつとりとし、大府市茶華道連盟による一服の抹茶をいただき一日を堪能していました。

★大府市盆梅展

市民の方々に春の喜びを知つていただくために、大府の新しい観光行事にと大府盆栽会が中核となつて始まつた盆梅展は、今年で第二十一回となりました。大倉公園の管理棟の日本間と休憩棟を会場で、ほのかな香りが漂い優雅なひと時を過ごしていただけています。

して、大府市
茶華道連盟は
休憩棟で茶席
を呈していま
す。

★大府市産業文化まつり

大府市産業文化まつりは、大府市における産業と文化の振興のために昭和四十五年の市制施行とともにスタートした大府市の秋の最大級のイベントです。そして、この大府市産業文化まつりでの大府市文化協会の文化面における役割は大きく、平成二十四年度では文化協会の団体が文芸・美術・趣味・園芸・生け花・吹奏楽演奏の分野で参加します。日頃の研鑽の成果と特徴を發揮できる場として参加団体の各会員は、この日に合わせて準備万端整えていきます。

また、平成二十二年度は茶の湯体験、二十三年度は瓢箪絵付け、二十四年度はフラワーアレンジメント

★ウツジヤウル

大倉公園と桃山公園で毎年四月下旬の土・日曜日に開催されるつづじまつりに協賛して、大府市盆栽



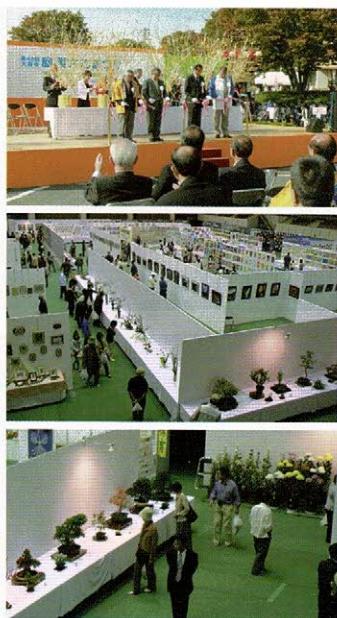
★大府市敬老会アトラクション

大府市では、毎年九月の敬老の日の前後に敬老会を体育館で開催しています。その式典後にプロの芸能人によるアトラクションが実施されていましたが、平成十一年度から大府市文化協会の芸能部門に声がかかり、このアトラクションに出演することになりました。

当初は照明や音響に舞台整備等でチヨツと苦労しましたが、敬老会への出席者からは好評を得ました。会を重ねることに工夫を加え、フィナーレでの大府ばやし・小唄保存会の皆さんを含めた大府ばやしの総踊りには、会場からも参加者が出るほどでした。

十六年度からはさきアト

ラクションに大府市の名士（市長・市議長・県議・等）に出演を依頼し、この時の大府白波五人男には会場からの大喝采を得ました。以降、大府市の名士によるアトラクション出演は恒例となり、敬老会への出席者からは出演者の今年の出し物は何かと期待されるようになりました。



★県民茶会

県民茶会は昭和四十六年に豊橋市より始まり、昭和五十二年からは尾張部と三河部に分かれて、各市町が持ち回りで開催されています。平成十五年には大府茶会が大府市勤労文化会館を会場に、近辺の市町と共に七席で開かれました。各々趣向を凝らした茶宴に多くの方々に満足していただきました。

大府市茶華道連盟では、大府茶会を前後して隣接する市町で開催される茶会には大府席を担当し、秋の茶道の祭典の一役を担いました。平成二十四年からは尾張部と三河部が一つになり、愛知県民茶会として催されるようになりました。



芸能大会



★県文連知多部芸能大会

芸能大会は、愛知県文連が県内五地域（西尾張・東尾張・知多・西三河・東三河）において開催しています。各市町の伝統文化の発表と同時に、文化協会会員の日頃の練習の発表の場でもあり、文化協会相互の交流の場でもあります。

知多部芸能大会の主催は五市五町が持ち回りで行っています。平成八九年と平成十七年には大府市文化協会が担当し、大府市勤労文化会館で盛り開催されました。

その後、各種の準備や調整が行われ、平成十八年度からの大府市勤労文化会館の指定管理者に大府市文化協会が指定されました。

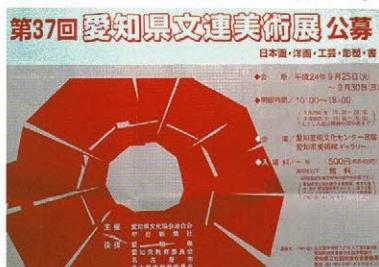
- ・二十年度総会（四月二六日）
- ・大府中学校選択授業講座支援（四月～三月）
- ・つづじまつり協賛（四月二十六～二十七日）
- ・2008 文協まつり（五月二十四～二十五日）
- ・第三十二回文協芸能祭（五月二五日）

手大喝采でした。

この知多部芸能大会には、音楽部門・芸能第一・芸能第二・趣味第一・歌謡部門の各団体が出演しています。出演者の熱演がどの舞台でも發揮され、拍手大喝采でした。

★県文連美術展

愛知県文連は、本県の美術文化の普及・振興をはかるとともに、次代を担う有為な新人の発掘を目的として美術展を開催しています。大府市文化協会からも昭和五十二年の発足以来美術部門の方々が毎年精魂込めた作品を応募され、入賞・入選と好成績を挙げられています。



大府市勤労文化会館の指定管理者に

大府市が大府市勤労文化会館の指定管理者を募集するとの情報があり、文協役員会で度重なる討議の結果、将来の文化活動の充実発展を図るためにもその活動の拠点の確保が必要との結論になりました。



その後、各種の準備や調整が行われ、平成十八年度からの大府市勤労文化会館の指定

管理者に大府市文化協会が指定されました。

- ・二十年度総会（四月二六日）
- ・大府中学校選択授業講座支援（四月～三月）
- ・つづじまつり協賛（四月二十六～二十七日）
- ・2008 文協まつり（五月二十四～二十五日）
- ・第三十二回文協芸能祭（五月二五日）

定管理者となり、従来の会館の管理運営と合わせ、大府市音楽祭、大府市芸術祭、大府市合唱祭などの文化事業も実施する事になりました。

★大府市勤労文化会館の管理運営方針

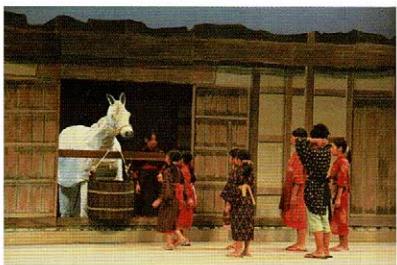
会館は、市の文化振興の拠点として、市民に親しまれ、また、市民の心身の健康ならびに福祉の増進に寄与するために設置された公の施設であることを常に念頭におき、管理運営にあたります。

この五年間の活動概要

★平成二十年度

新城の歴史と文化を学ぶ文協教室は十一月三日に開催されました。新城市教育委員会文化課長の村田さんの案内で、長篠城址歴史保存館・設楽原歴史資料館・新城まちなか博物館・新城小学校木造校舎・はたおり工房と見学し、新城の歴史と文化の深さを学んできました。同時に開催されている新城市文化協会の文協まつりで、芸能祭や文化展・茶会・菊花即売会など文化の交流を楽しみました。





遠野市では三十年も前から「遠野物語ファンタジー」が市民の手作りによつて公演が脈々と続けられています。今年の出し物は「オシラサマ昇天」

した。スタッフキャスト全て
アマチュアで公募によるも
のだそうです。人口三万人
の中でも三五二人という人達
がこの公演にかかわり、観
客動員は三回の公演で二千
余名、土着性とすばらしい
結束力にカルチャーショッ
クを受けました。

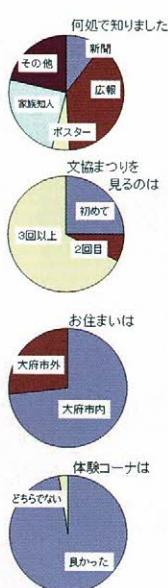


★平成二十一年度

- ・会員研修旅行 伊賀上野と長谷寺（七月十三日）
 - ・大府市敬老会アトラクション（九月十三日）
 - ・県文連美術展（九月三十日～十月五日）
 - ・大府市産業文化まつり（十月二十五～二十六日）
 - ・県民茶会・春日井市（十月二十六日）
 - ・県文連知多部芸能大会・美浜町（十一月十六日）
 - ・第二十五回文協社交ダンス交流会（十二月十四日）
 - ・第八回文協社交ダンス交流会（二月二十五日）
 - ・第十八回大府市盆梅展協賛（二月九～十五日）
 - ・第十六回文協歌謡祭（三月八日）

より多くの市民の方に文協まつりを楽しんでいただこうと、初めての体験コーナー（瓢箪の絵付け）を開設しました。みなさん思い

そして今回初めて文協まつりに関するアンケートを実施しました。多くのご意見を頂いたので、この結果を踏まえ今後の企画改善に努めました。



★平成二十二年度

- ★平成二十一年度

 - 二十二年度総会（四月二十四日）
花井秋子さん、小澤数雄さんが副会長を退任し相談役に就任しました。
 - 山崎照子さんが副会長に就任しました。
 - つつじまつり協賛（四月二十六～二十七日）
 - 2010文協まつり（五月二十一～二十三日）
今年もみんなが見て聴いて参加して楽しんで頂くを合言葉にアトラクションの充実を図りました。ロビー・コンサート、草木染め体験コーナーとスタンプラリーで多くのお客様に楽しんで頂きました。
 - 第三十四回芸能祭（五月二十三日）
会員研修旅行・興福寺と平城宮跡（七月十一日）
文協教室・木版画講座（十月三十一日～3回）
大府市敬老会アトラクション（九月十一日）
大府市産業文化まつり（十月二十三～二十四日）
県民茶会・稻沢市（十一月七日）
文協教室・オペラ講座（十一月二十日）
県文連知多部芸能大会（十一月二十八日）

- ・第十九回社交ダンス交流会（一月二十三日）
- ・二十七回文協音楽祭（十一月五日）
- ・大府市合唱祭との共催で行われました。
- ・県文連美術展（十二月二十一日～二十六日）
- ・第二十回大府市盆梅展協賛（二月七日～十三日）
- ・第十八回文協歌謡祭（三月六日）
- ・府柳クラブが句集を発行
- ・創立六十周年を記念して句集「府柳」を発行しました。
- ・愛瓢会が交通安全をPR
- ・事故ゼロの日にあわせて、招き猫と交通安全のシールが貼られた瓢箪細工をドライバーに配り、安全運転を呼びかけました。
- ・長田弘さんが副会長に就任しました。
- ・つづじまつり協賛（四月二十六日～二十七日）
- ・二十三年度総会（四月二十九日）
- ・つづじまつり協賛（四月二十六日～二十九日）
- ・二〇一二文協まつり（五月二十八日～二十九日）
- ・今年の体験コーナーは苔玉づくりでした。今も緑に輝いています
- ・よど、参加された方が喜んでいました。
- ・第三十五回芸能祭（五月二十九日）
- ・趣味の入門講座開講
- ・大府市文化協会では、初めての市民対象に趣味の入門講座を開講しました。十五の講座に一六六人が参加しました。
- ・第二十八回文協音楽祭（七月十七日）
- ・文協教室・版画講座（十月二十三日～三回）
- ・大府市敬老会アトラクション（九月十七日）
- ・大府市産業文化まつり（十月二十九日～三十日）
- ・県文連美術展（九月二十七日～十月一日）



★平成二十三年度

- ・文化協会事務局が大府市勤労文化会館に移動
- 〒47410056
- 大府市明成町一丁目330
- 大府市勤労文化会館内
- 電話・FAX 056214816188
- Eメール obu_bunkyo@hotmail.co.jp
- 事務局業務日 月・水・金
- 業務時間 九時～十七時

- ＊祝日にある場合は事務局は休業になります
- ＊祝日は留守番電話対応となります。
- ＊休業日は留守番電話対応となります。

二十四年度総会（四月二十八日）

- ・大府市文化協会規約の「第39条の2項」を削除する規約改定が承認されました。内容は、入会金制の廃止です。

趣味の入門講座開講

- ・昨年に続き四月七日の詩吟体験講座を皮切りに、十月二十日に終了の盆栽講座までの全十四講座を開講しました。

- ・二〇一二文協まつり（五月二十六日～二十七日）

- ・秋に開催の文協教室（手彫りガラス）の先生の作品が参考展示され人目を惹きました。

- ・今年の体験コーナーは瓢箪絵付けを行いました。



★平成二十四年度

- ・文化協会事務局が大府市勤労文化会館に移動
- 〒47410056
- 大府市勤労文化会館内
- 電話・FAX 056214816188
- Eメール obu_bunkyo@hotmail.co.jp
- 事務局業務日 月・水・金
- 業務時間 九時～十七時

- ・文協教室・手彫りガラス（十一月四日～二回）
- ・会員研修旅行・高野山参拝（十一月十三日）
- ・文協創立三十五周年記念式典（十二月二日）
- ・大府市勤労文化会館のくちなしホール記念式典と名城病院赤澤先生による講演とライブが行われました。



- ・文協おおぶ創立三十五周年記念誌が発行されました。
- ・大福会が俳句を公募し沢山の句が寄せられました。
- ・評を得ました。

- ・第三十五回芸能祭（五月二十九日）
- ・趣味の入門講座開講
- ・大府市文化協会では、初めての市民対象に趣味の入門講座を開講しました。十五の講座に一六六人が参加しました。
- ・第二十八回文協音楽祭（七月十七日）
- ・文協教室・版画講座（十月二十三日～三回）
- ・大府市敬老会アトラクション（九月十七日）
- ・大府市産業文化まつり（十月二十九日～三十日）
- ・県文連美術展（九月二十七日～十月一日）

- ・第十九回社交ダンス交流会（一月二十三日）
- ・二十七回文協音楽祭（十一月五日）
- ・大府市合唱祭との共催で行われました。
- ・府柳クラブが句集を発行
- ・創立六十周年を記念して句集「府柳」を発行しました。

- ・県民茶会・清須市（十一月二十日）
- ・県文連知多部芸能大会・武豊町（十一月二十七日）
- ・第十一回社交ダンス交流会（一月二十二日）
- ・第十九回文協歌謡祭（三月四日）
- ・第二十一回大府市盆梅展協賛（二月六日～十二日）
- ・深谷良一会長が愛知県教育表彰を贈られました。
- ・大府市盆栽会の外山誠治さんが警察庁と全日本交通安全協会より表彰されました。

- ・第三十六回芸能祭（五月二十七日）
- ・つつじまつり協賛（四月二十八日～二十九日）
- ・県文連美術展（九月二十五日～三十日）
- ・県民茶会・新城市（十月二十一日）
- ・県文連知多部芸能大会・東浦町（十一月二十五日）
- ・県文連美術展（九月十五日）
- ・大府市敬老会アトラクション（九月十五日）
- ・大府市産業文化まつり（十月二十七日～二十八日）
- ・茶華道連盟がフラワーアレンジメントの体験コーナーを実施し好評を得ました。

- ・第三十六回芸能祭（五月二十七日）
- ・つつじまつり協賛（四月二十八日～二十九日）
- ・県文連美術展（九月二十五日～三十日）
- ・大府市敬老会アトラクション（九月十五日）
- ・大府市産業文化まつり（十月二十七日～二十八日）
- ・茶華道連盟がフラワーアレンジメントの体験コーナーを実施し好評を得ました。

文化協会加盟団体一覧

| 部門 | 団体名 | 代表者氏名 |
|------|---------------------|--------|
| 文芸 | 府柳クラブ川柳会 | 越知 敏昭 |
| | としのわ短歌会 | 辻 徳夫 |
| | 俳句 大福会 | 神谷 優 |
| 美術 | 大府絵画パステルクラブ | 成田 武文 |
| | ふさの会 | 百合草忠男 |
| | 大府かな書道部 | 下村みさ子 |
| | 大府市写真クラブ | 澤田 忠男 |
| 音楽 | 大府混声合唱団赤とんぼ | 藤川 潔 |
| | 大府市民吹奏楽団 | 飯島 敏樹 |
| | 女声合唱団アマリリス | 佐藤 寛子 |
| | 女声コーラス萌木 | 大島 美和子 |
| | 大府市楽友協会管弦楽団 | 藤島 三雄 |
| | コーロ・ピアチエーレ | 深谷 恵子 |
| | マンドリンアンサンブル・エーテルワイズ | 田中 真理 |
| 趣味第一 | 大府ヨガクラブ | 水野 佐都代 |
| | ダンスレインボー会 | 森 京子 |
| | 大府マジッククラブ | 深谷 友英 |
| | 大府シティバレエ | 伊藤 京香 |
| 趣味第二 | 大府市ハムクラブ | 森 康二 |
| | 草木染 藍の会 | 武藤しづ代 |
| | 夢工房 | 平岡 ミキ |
| 歌謡 | あけぼの会 | 鈴木 雪予 |
| | あすなろの会 | 西田 敏江 |
| | 東山カラオケ愛好会 | 牧野 輝三 |
| | 愛唱会 | 山本 富枝 |
| | 長草歌謡友の会 | 徳山 栄洋 |
| | 明星会 | 近藤 俊夫 |
| | カラオケ五郎&花 | 浜口 裕 |
| | あゆみ会 | 後藤 英悟 |
| | 浜友会 | 清水 重光 |

| 部門 | 団体名 | 代表者氏名 |
|------|-------------|--------|
| 芸能第一 | 大府吟詠部 | 村瀬 良子 |
| | 共和吟詠部 | 森 深 |
| | 長草吟詠部 | 山田 耕三 |
| | 森岡吟詠部 | 加藤 巧 |
| | 神田吟詠部 | 成田 千弘 |
| | 中部詩吟同好会 | 伊藤 久江 |
| | ひじり詩吟 | 浅田 圭一 |
| | 大府剣詩舞道部 | 竹内 久恵 |
| | 大府吟友会 | 竹内 鉄夫 |
| | 大府三曲会 | 近藤 富男 |
| | ことね会 | 松田 秀子 |
| | 大府剣扇クラブ | 建部 真理子 |
| 芸能第二 | すずめ会 | 新美 初枝 |
| | 睦会 | 三ツ矢靖子 |
| | くちなし会 | 人見かをる |
| | ほなみ会 | 倉元須麻子 |
| | 喜楽会 | 斎藤 重子 |
| | おもと会 | 楠 富美子 |
| | さくら会 | 吉川 武子 |
| | なごみ会 | 黒田多嘉子 |
| | みどり会 | 深谷美喜子 |
| | 民舞の会 | 鷹羽 律子 |
| 園芸 | 和太鼓 ぽんぽこ・童子 | 小島 史世 |
| | 枝友会 | 安藤 和子 |
| | 大府市盆栽会 | 波多野正登志 |
| 茶華 | 大府錦風会 | 鈴置 勝 |
| | 大府愛瓢会 | 小島 要 |
| | 大府市茶華道連盟 | 阪野 洋子 |

役員一覧

| 役職名 | 氏名 |
|------|-------|
| 顧問 | 加藤 俊治 |
| 相談役 | 大島 鈴男 |
| 相談役 | 森 誠一 |
| 相談役 | 花井 秋子 |
| 相談役 | 小澤 数雄 |
| 会長 | 深谷 良一 |
| 副会長 | 館内 三郎 |
| 副会長 | 山崎 照子 |
| 副会長 | 長田 弘 |
| 幹事 | 太田美由伎 |
| 幹事 | 鈴置美代子 |
| 幹事 | 柴田ふさ子 |
| 常任理事 | 清水 義勝 |

| 役職名 | 氏名 |
|----------|-------|
| 常任理事 | 花井 博之 |
| 常任理事 | 森 忠義 |
| 常任理事 | 山本 健三 |
| 常任理事 | 加藤 弘子 |
| 常任理事 | 井村 銅 |
| 理事(文芸) | 吉田 武夫 |
| 理事(美術) | 成田 武文 |
| 理事(音楽) | 巴山 喜博 |
| 理事(芸能第1) | 谷口 尚真 |
| 理事(芸能第2) | 黒田多嘉子 |
| 理事(園芸) | 花井 益夫 |
| 理事(茶華道) | 近藤 教子 |
| 理事(趣味第1) | 鈴木 君子 |

| 役職名 | 氏名 |
|------------|-------|
| 理事(趣味第2) | 西山 典子 |
| 理事(歌謡) | 岡本 勝英 |
| 会館事務局長 | 三澤 誠 |
| 編集委員長 | 館内 三郎 |
| 企画委員長 | 巴山 喜博 |
| 文協まつり実行委員長 | 長田 弘 |
| 芸能祭実行委員長 | 早川 広量 |
| 音楽祭実行委員長 | 花井 博之 |
| 歌謡祭実行委員長 | 岡本 勝英 |
| 監事 | 深谷 修久 |
| 監事 | 浜島 賢亘 |
| 文化推進員 | 早川万里子 |